

「命の重さ」
西井 修

北地方は、南米大陸の植民地時代の遺影を今だに感し、貧富差が著しい地域です。そこでは、本来、予防できるはずの感染症や慢性疾患がその劣悪な衛生状態と経済状態、保健医療資源の不足により、多くの人々を襲い、命を奪っています。治療できるはずの病気が思春期の社会経済状態によって、診察には天と地の差が生じ、命の重さから大抵との差が生まれます。

しかし、日本は例外でしょうか。日本

にも、未だに、世氣になつても容易に医療を受けられない人々が沢山あります。都会なら、病院も多く問題がないように見えます。しかし、現実には、家族や地域の結びつきや助け合いが希薄になり、真剣に地域の人々の健康を考える医療機関も少なくなつただけ、健康問題を抱えながらも、十分なケアが行われないケースも増えてきました。

この際、山全における訪問看護センターが誕生するところになるかもしれま

せんが、これが、この「命の不等差」の是正に一石を投じてくれるのではないかと私は大きく期待しております。私の好きな言葉に、「世界のことを考えながら地域で実践せよ」というのがあります。この言葉の裏には、苦節も伴いますが、喜びと多くの学びも待っています。私自身、これまでの活動を振り返りかえり、多くの感動と喜びを与えられ、大きく成長させてもらいました。是非とも、皆様には、東水くこのテーマ

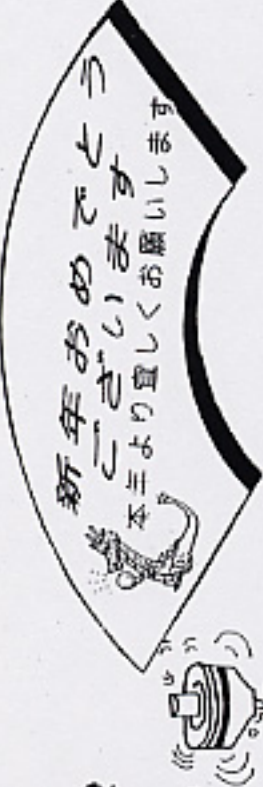
ントにご参加・ご協力頂き、地域の病める人々へ手を差し伸べて頂きたいと心より願っております。

(一柳 孝徳)

編集後記
健康誌として初刊で、理事の挨拶が大きく誌面を占めました。が、今後は会員の皆様の声も載せたいと考えていますので、ご意見を頂ければ幸いです。

尚、三月に臨時総会を予定していますので、詳細は後日掲載いたします。

「コスモス」
第一号



N P O
訪問看護
センター
コスモス

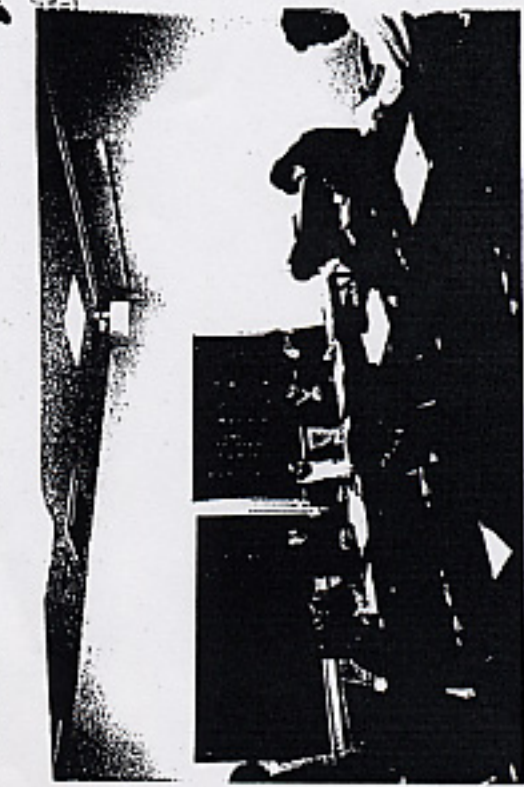
設立総会
終了

去る一九九九年十一月二十八日に設立総会を終了致しました。総会は四〇名中十六名の参加者で滞りなく経過し、参加した会員からは激励の言葉を頂き、さらに欠席した会員からも多数メッセージを頂きました。

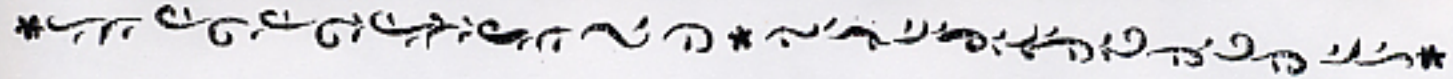


これらの言葉に理事一回は、心穏まるも同時に心が震い立つ思いがし、改めて身を引き締めていかなければならぬと感じました。

そして、十一月三〇日にNPO申請書類が、東京都に受理され、三月下旬に承認予定です。また三月中に台東区内に事務所を開設します。



総会風景



読者一同より設立
に際し招集と新年の
挨拶を申し上げます。

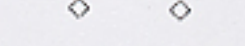
「二〇〇〇年、富士
は雪を降せて」

副理事長
山下 真実子

昨年末、富士山詣
者を対象に山谷地区
の巡回をいたしました。
多くは軽装だの、
仕事がない人達です。
バブル崩壊後事業に
失敗した元社長、外
国人、そして若い女
性、「事情があつて
・・・」と口をつぐむ
人・・・いろいろな
事情を抱え、山谷で

暮らす人達です。と
の様な事情を抱え、
どのような生活形態
で暮らしていても、
その一人一人にとっ
ては、かけがいのな
い、大切な大切な
命です。人の命の
重さに違いがあつて
はなりません。しか
し山谷では異なる医
療がいもろついてい
るとは言えません。
生活形態にも規定を
られ、多くの人が、病
氣を抱え、命を失う
ことも又多いのです。
読者が切り捨てられ
ることのない保健・
医療・福祉を目指し
私達は山谷を含む前

両着履スニーカーを
を立ち上げました。
昨年秋より取り組む、
まだほんの数か月、
何の気遣も持たない
私達ですが、二〇〇
〇年新たな年を迎え
アスタロト一回強い
決意を固めます。足
穿とも増強の服がい
ち支度を心よりお願
い申し上げます。

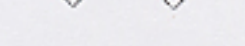


「山谷地域に参入す
るにあたって」

副理事長
村上 トヨコ

この山谷地区に外
入するボランテイア

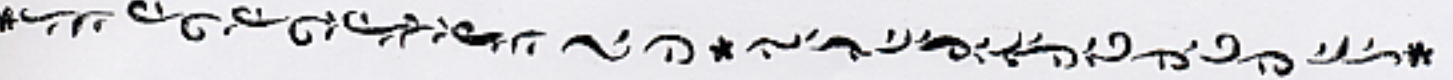
団体が十八あると聞
いた時は、正直なと
ころ思ひのほか多い
ことに驚き、新たに
参入する事の困難を
を重く感じさせられ
ました。しかし、各
分野での活動を通し
て情報交換し、より
充実した結果を出し
合える関係を築いて
いける事を希望して
います。優しく、広
く、厚く、強くニ
ーグに働き、また自
分自身の手で想定の
外に支援しつつ十
九個目の団体として
参画していただきた
いと思います。



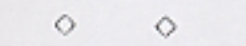
「山下寺に眠って」

理事
島根 田子

明けましておめで
うございします。
十一月の総会から
早くも一月余りが
過ぎ、私達も訪問者
履スニーカーをコク
キク開設に向けて動
かしております。
私自身としては、
ボランティアの
講習会もあつた、
福祉に興味を持ち
始めたころ、山下
さんから訪問看護を始
めるといふ話があり、
そのまま山下寺
に眠られて今日ま



まで来てしまいました
だ。何さかあ初め
の事はかりで問題
はたくさんあります
が、皆さんも協力し
て頑張ってください。
今
後とも互しくお願
い申し上げます。

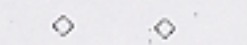


「山谷での訪問看護
を行つてはるこ」

理事
山田 美穂子

山田は看護士協会
に入り、四月から介
護保険が導入されま
す。自宅で療養中の
高齢者にとっては、

質の高い看護・福祉
のサービスが必妥と
なっております。
このような時勢に
山谷と呼ばれる地域
に設立される訪問者
履スニーカーをコク
キクのメンバーとし
アスタロト・富士山詣
のろうは両者にも医
療のサービスが現状
ではなかなか取り
組んでいただくと
思います。



「富士の心算え」

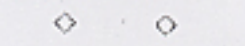
理事
千葉 幸子

昨年秋から山下
さんとN.P.O活動の

ために行動してきま
したが、その数にと
は山谷と呼ばれる地
域での訪問看護活動
は、必妥とはされて
いるし、無ければな
らぬと感しました。
しかし結果は未知数
でいろいろと多くの
々は受けられました。
歴史の中で、先達
者はいづも辛いもの
でありました。しか
し、その辛さを克服
するために、開拓者
は、強い信念と熱意
を持っていくと思
います。

今の私たちに必妥
なことは、開拓者の
精神で進んで行くこ

とだと思ひます。こ
れからの私達へ、広
報と指導を厚くお
願い致します。



「はじまりの手」

理事
原 香子

コクキクのはじま
りの足、介護保険の
はじまりの年、先達
のいない新しいこと
に手探りで取り組む
新しい年のはじまり
です。失敗や後戻り
もあることでしょう
が、大きい目で、ゆ
っくりとした歩みさ
しだいものです。私

は、看護・介護の専
門職ではありません
ので、素人の目を通
しての考えが正えら
れるようにしたいと
思っています。

